

藤川小学校 平成21年度総合的学習の時間「ゆりのきタイム」の全体指導計画

学校の教育目標 目指す子供	21世紀をたくましく生きる知・徳・体の調和のとれた子の育成 ・自ら主体的に学び、常に事故の向上を目指して努力し続ける子 ・正義感と倫理観を備え、国際感覚に富み、他を思いやる心豊かな子 ・命の大切さを重んじ、自ら心身を鍛え、たくましく生き抜く力を備えた子
--------------------------	---

ゆりのきタイムで目指す子供	・自ら問いを持ち意欲的に追究する子 ・地域を見つめ、自己の生き方を考える子 ・人とのかかわりを大切に、他を思いやる心の豊かな子
----------------------	---

各教科との連携
・各教科で培った力を、ゆりのきタイムで発揮してさらにその力を伸ばす。
・ゆりのきタイムで身に付けた力を、教科学習に生かす。
<国語> 適切に話したり綴ったりする力
<社会> 郷土・国土の地理や歴史、社会の仕組みについての理解力
<算数> 数量や図形の知識理解と応用力
<理科> 自然事象についての理解力
<音楽> 音楽的な表現力
<図工> 造形的な表現力
<家庭> 生活に関する知識技能と活用力
<体育> 健康安全への知識と理解力 身体的表現力
<道徳> よりよく生きるための社会性と道徳性
<特活> 自主自立の精神と実践力

ゆりのきタイムで身に付けたい力		
	3・4年生	5・6年生
課題追究力 課題解決力	・調べてみたいことや活動したいことをもとに自分なりの課題を持つことができる。 ・図書資料の活用や聞き取り調査ができ、友だちの考えと自分の考えを比較することができる。	・自分なりの計画や見通しを持って、自分の課題に取り組むことができる。 ・様々な情報の収集と処理をしながら追究活動ができ、活動の振り返りができる。
表現力	・自分の意見を分かりやすく伝えることができる。 ・絵や写真や実物を使って自分の伝えたいことを表現できる。	・伝える相手を意識して自分の考えを分かりやすく表現できる。 ・劇化やコンピュータ活用など効果的な表現方法が工夫できる。
実践力 発信力	・学習したことを学校や家庭の中で実践したり伝えたりすることができる。	・学習したことを地域の中で積極的に実践したり、発展させたりすることができる。

生活科との関連
・調べてみたいことややってみようを見つけすることができる。
・家の人や身近な人から聞き取りをすることができる。
・自分の考えや思いを持ち、話したり絵や文で表現したりできる。
・学習したことを自分で試したり、生活の中で生かしたりできる。
・本などを使って自分の力で調べることができる。

学年年間計画		
学年	学年テーマ	学習内容
3年	自然は友だち <学区の自然から>	学区の恵まれた自然の中で生息する動植物の様子を年間を通して調べる活動
4年	人の役に立つことをしよう <学区の福祉から>	学区にある社会福祉施設との交流を切り口にして、地域の福祉について見直す活動
5年	チャレンジ・ザ・米作り <米作り体験から>	代掻きからみすりまでの一連の米作り体験を通して、食について考える活動
6年	藤川の歴史発見 <学区の歴史から>	学区の豊かな歴史や文化を見直すとともにその保存について調べる活動

家庭・地域との連携
○地域から学ぶ
・地域の自然環境の教材化
・地域の社会福祉施設との交流
・地域の人材の活用
・地域の歴史の教材化
○地域で学ぶ
・地域での校外学習
・地域の人とのかかわり
・地域から学ぶ場面の設定
○学校ボランティアの活用
・年間を通してかかわれる人材の活用
・学習目標にかなう人材の活用
○学習支援への保護者の協力体制
○家庭・地域への発信
・学校だより
・ホームページ
・生活・ゆりのき体験フェスタ

評価
<評価規準のプロセス>
①身に付けたい力に基づいた年間指導計画
②具体的な単元設定と子どもの意識を見通した学習展開構想
③単元を通して身に付けさせたい力の設定
④具体的に育てたい力の評価規準の作成と評価方法を考えた評価計画
<評価方法>
・ポートフォリオ
・自己評価カード
・相互評価の場面設定 (学級内発表会、ゆりのき体験フェスタ)
・教師の観察記録

学習公開、学習への参加、参画、地域への発信

ゆりのきタイム運営計画				
	ゆりのきタイム	パソコン活用	英語活動	合計
内容	学年テーマ追究活動	リテラシー	ALT招聘	
3年	87時間	15時間	3時間	105時間
4年	87時間	15時間	3時間	105時間
5年	92時間	15時間	3時間	110時間
6年	92時間	15時間	3時間	110時間